

令和6年度 第2回 東小学校運営協議会 会議録（要点記録）

- 1 開催日時 令和6年6月12日（水） 午後1時20分から午後3時20分まで
- 2 開催場所 東小学校 1階 会議室
- 3 出席委員 小名木 秀雄、高木 邦子、松下 克幸、今中 秀裕、中川 清子、
中村 将義、杉山 晴康、佐原 寛美、竹山 有希
- 4 欠席委員 なし
- 5 オブザーバー 佐藤 拓男（中部協働センター長）
- 6 学 校 大石 泰三（校長）、平野 晶子（教頭）、
舩越 裕康（CS担当教職員）、原 真衣子（CSディレクター）
- 7 傍聴者 なし
- 8 会議録作成者 CSディレクター 原 真衣子
- 9 議長の選出
司会から、議長の選出について委員に意見を求めたところ、今中委員が務める旨の発言があり、
全員異議なくこれを承認した。
- 10 協議事項
（1）参観会視察について
（2）本年度教育の重点について 「見つめる力」「かかわる力」
（3）課題の整理と改善の方向性について
（4）学校評価について
- 11 会議記録
司会のCS担当教職員から、委員総数9人のうち9人の出席があり、過半数に達しているため、
会議が成立している旨の報告があった。

（1）参観会視察について

■ 熟議

- 手を挙げて自分の意見を言える子が多いと感じた。6年生は体育館で父兄も一緒に体育の授業に参加していて、和気あいあいとした雰囲気が良かった。（今中委員）
- 保護者に声掛けしてみたところ、先生方の仲の良さが伝わってくると言っていた。（中村委員）
- 温かな学校・学級風土をつくるためには、まずは職員間の雰囲気が良いことが大切である。授業の中で、間違ったらどうしようという気持ちが生まれると発言できないことがある。子供たちのいろいろな意見が受け入れられる学級にしていきたい。そのためには、多様な考え方を認め合い、自分とは異なる意見もその考えを掘り下げることができるよう、授業だけでなく普段の生活の中でも温かな雰囲気づくりをしていくことが大事なのではないかと考えている。（校長）

- 家では子供とじっくり向き合う時間がない家庭もあるかもしれないが、学校では学校の、家庭では家庭でのあたたかさが感じられるといいと思う。(杉山委員)
- 参観会の様子を見ると、高学年の保護者は遠慮がちに遠くから見ている。もっと保護者が子供と関わって一緒にやれることがあるといいのではないか。(高木委員)
- 挨拶運動で声掛けをすると、とても元気よく返してくれる。こちらから関わっていけばもっと深く関われると思う。(杉山委員)
- 学校に来るのが楽しいというのが大前提であるべきだと思う。学校がどんなにいろんなことを考えても、子供たちが来なかったら意味がなくなってしまう。楽しいと安全は絶対である。保護者が参加して授業をやっているクラスはとても楽しそうだった。(松下委員)
- 学校に来られない子もちょっとしたきっかけで来られるようになることがある。保護者には、子供が頑張っている姿をたくさんほめてあげてほしいと伝えている。子供たちが生き生きしていたのが印象的だった。(中川委員)

(2) 本年度教育の重点について 「見つめる力」「かかわる力」

■ 熟議

- 道徳の授業の中で、グループの意見を1つにまとめるという内容があった。グループ全員が同じ意見ではないはず。でも自分の意見がなかなか言えない子にとっては、グループで意見をまとめることで自信をもって発言ができるという良い面もあるので、難しいところだと思う。(高木委員)
- 道徳はそれぞれの考え方があって、正解がない。意見を1つにまとめるのは難しい。(校長)
- ロールプレイングのような授業は、かかわる力につながっているように感じた。(今中委員)
- 自分の意見が言える子供が育っていると感じた。(高木委員)
- 成長していく中で、落ち着きが出てきたり年下の子の面倒をみるような行動ができるようになったりする。異年齢同士の上下的なかわりも上手にできていると感じる機会が増えたように思う。(中川委員)
- 毎年8月にサッカー少年団で高山に行くが、勉強を怠らないという約束がある。プリントを配付すると、何も言わなくてももらったその日のうちにやっている。これをやれば、何か良いことが待っているという刺激があったら、もっとやる気になるのではないか。(松下委員)
- 見返りがなければ何もしない、とならないように、具体的な物事ではなく「分かった」「できた」が増えることがモチベーションにつながってほしい。(高木委員)
- キャリア教育では、子供たちには今学んでいることは将来につながる意味のあることだと実感できるようにしていきたい。(校長)

(3) 課題の整理と改善の方向性について

■ 熟議

- 以前行っていたふるさと交流のようなものはなくなったのか。(松下委員)
- 中山間地域との交流を行っていろいろな活動をしている。それとは別件で、この間は水窪小学校の児童が本校に来て一緒に授業を受けた。子供たちにはいろんな体験をさせてあげたいと考えているので、今後も様々な経験ができるような機会を設けていきたいと考えている。(校長)
- 先生たち自身が、やりがいをもって自分らしく楽しんでやることが大事だと思う。(中村委員)
- 子供たちが、自分の未来を自分で切り開いていけることが大事。「かかわる力」に力を入れるのであれば、他校の生徒との交流などはとても良いと思う。(高木委員)

(4) 学校評価について

目指す姿は学年ごとに少しずつ違うので、発達段階に応じて学校評価の項目を設定する。児童、保護者に評価を行ってもらい、その結果を今後の改善に生かしていきたいと考えている。

○ 学校支援コーディネーターからの報告

学校から依頼があった学習ボランティアを探している。

○ オブザーバーより

協働センターもいろんな情報をきちんと得ていかないといけない。クリエートにも子供たちがたくさんきている。たまに声かけも行っている。今後も子供たちの居場所になっていけたらと思う。

○ その他

司会から、次回会議は、令和6年9月9日(月)午前9時から東小学校会議室で開催する旨の報告があった。

次回議長については、委員から高木議員を推挙する旨の発言があり、全員異議なくこれを承認した。